



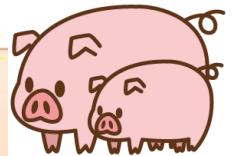
**国内で豚コレラが継続して発生しています！！**

平成30年9月9日、岐阜県の養豚農場において26年ぶりに豚コレラが発生し、12月28日までに合計6件と発生が拡大しています。また、野生いのししの検査では、岐阜県だけでなく愛知県でも陽性事例が確認されています。（豚コレラは、豚やいのししが感染する病気で、強い伝染力と高い致死率から家畜伝染病に指定されています。）

関係者におかれましては、引き続き飼養衛生管理を徹底し、本病の侵入防止に努めるとともに複数頭の豚に発熱・元気消失・結膜炎・流死産等の異状が確認された場合は、速やかに家畜保健衛生所へ御連絡するよう御指導をお願いいたします。

**豚コレラ**

2018年9月  
 日本で発生



**特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です！**

**発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等**



うずくまり



豚房の隅に集まるパイルアップ



目やに

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。

**平成30年度家畜保健衛生業績発表会が開催されました**

11月30日、熊本県農業研究センターにおいて、家畜保健衛生業績発表会が開催されました。これは県内5つの家保の職員が、実施した取組や症例報告等で得た知見を発表・共有することで、畜産振興につなげるものです。全14演題のうち、3演題（当所から2演題）が県代表に選出され、来年7月の九州地区業績発表会にて発表します。



**【当所発表演題】**

- ・ 「家畜伝染病発生時の防疫作業者への効率的消毒方法の検討」（県代表）
- ・ 「敗血症を呈した牛から分離された大腸菌の病原因子検索」
- ・ 「急性感染を疑う牛ウイルス性下痢ウイルスによる流産の発生」
- ・ 「早産等を呈した繁殖母牛の血中硝酸態窒素濃度に関する一考察」
- ・ 「非定型豚ペスチウイルス(APPV)の関与が疑われた新生子豚の先天性筋痙攣症」（県代表）

# 中国でアフリカ豚コレラが発生しています！

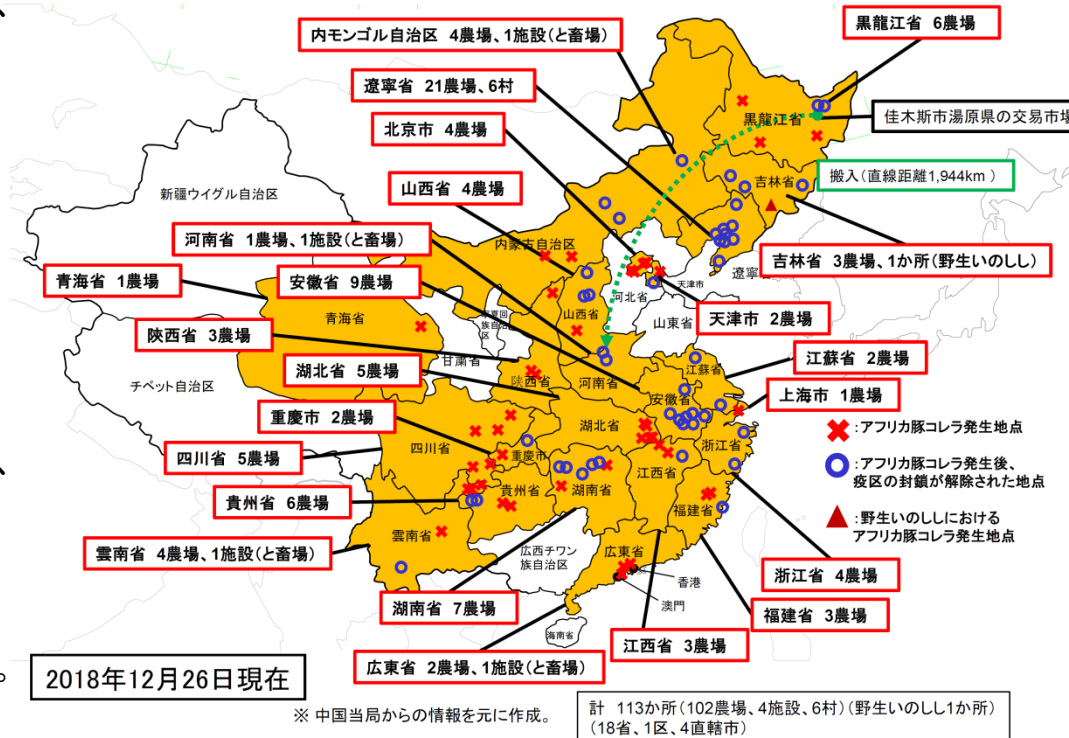
平成30年8月3日、中国においてアジアで初めてとなるアフリカ豚コレラの発生が認められました。その後、12月26日までに計113か所で確認されており、26万頭以上の豚が殺処分されています。また、中国からの旅客から収去した畜産物（ソーセージ、生肉、ギョーザ）からアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子が検出されています。

一方、口蹄疫についても、中国や韓国をはじめ、近隣諸国で発生しています。

春節を前に人や物の往来が盛んになるため、アフリカ豚コレラや口蹄疫等の病原体の日本侵入リスクはさらに高まります。

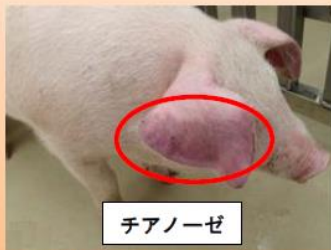
関係者におかれましては、農場等への野鳥や野生動物の侵入防止対策、衛生管理区域内に入る際の人・車両の消毒等、飼養衛生管理基準が守られているか、今一度確認・指導していただき、異状が確認された場合は、当家保へ直ちに通報するよう御指導をお願いします。

## 中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



### アフリカ豚コレラ

**病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。**



2018年8月以降  
中国で発生継続



病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

### 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(7件)	七面鳥、肉用あひる、肉用がちょう、鶏	平成30年11月7日 ~12月18日
アフリカ豚コレラ		中国(22件)	豚、いのしし	平成30年11月29日 ~12月25日

平成30年1月1日時点



**毎月20日はくまもと家畜防疫の日**

定期的な消毒を実施しましょう！

